

感動を呼ぶモノづくりに夢中

未来づくりに、一緒に参画しませんか？



モノづくり技術統括部
統括部長

福永 茂樹

モノづくりを通して、豊かな未来社会の実現に、皆さんの創造力を活かしてみませんか。

村田製作所は創業以来、モノづくりを大事にしてきました。

特に1950年代後半からは生産工法の開発（プロセス開発）や設備・治工具開発、設計製作に注力し、現在までその取り組みは脈々と受け継がれています。

独自性を大事にした内製開発、独創的なモノづくりの実現のみならず、世の中の最先端の技術をも積極的に取り込んで消化し、他に真似の出来ない技術を生みだしていきます。

このモノづくり力と材料開発力、商品開発力が融合して事業競争力の源泉となり、世界中の顧客に満足していただける最高の価値（商品、技術、サービス）を創出し提供することが可能となります。

その実現に向けてムラタらしさの追求、あなたらしさの追求、

ワクワクしながら新しい発見と新しい価値創出と一緒に取り組んでみませんか。

ムラタを支えるモノづくり技術とは

「生産技術」から「モノづくり技術」へ

ムラタの生産技術のこだわりは「価値を創り出す技術の追求」です。

世の中に無い技術を使った新工法・プロセスの確立や新しい生産設備作りは、ムラタの生産技術の強みの一つです。

さらに、多様化するお客様の声にお応えするために考え気付いたこと。

お客様の真の価値創造にムラタらしく応えたい。

そのために出来ることを考える集団でありたい。

生産設備開発などの形ある物作りだけでなく、あらゆるモノづくりの場面において求められる知恵や技術をトータルで創出することでお客様に価値を提案・提供する。

そんな想いがこれまでの「生産技術」の枠組みを越えた「モノづくり技術」という名称に込められています。



現在

商品企画・開発から製品出荷に至るまでのあらゆるモノづくり課題に対して最適なソリューションを提供

スマート
ファクトリー
(DX推進)



2000～

軽薄短小・短納期・高品質

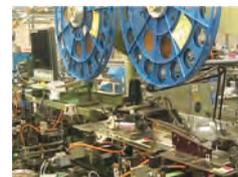


1944～

創業初期のモノづくり

1970～

大量生産競争時代



世界最小・トップシェアの商品を創り続ける モノづくり技術の強み

独自性

プロセス・工法・設備を駆使した独自の技術

世界一のシェアを誇る、世界最小の電子部品たち。その商品をいち早く、安定的にお客様へと供給し続けることが、私たち「モノづくり技術者」の使命です。世界初の商品を生み出す、そして、材料から商品までモノづくりの全てに関わっていく。世の中にないモノづくりは、自分たちで生み出していくのです。

協働

商品・現場との強い連携が生み出す技術と匠の相乗効果

商品の企画開発段階から入り込み、共につくり上げていく。私たちが最適なつくり方を提案することで、商品の価値はより高まっていきます。モノづくりの源泉である現場には数多くのヒントが眠っています。その声を改善に繋げ、次のモノづくりへと繋げていくのです。

シンカ

常に新しいモノをつくり続ける創造力

モノづくりには終わりがありません。一つ完成した瞬間から、また次へのスタートです。さらなる進歩を目指し、さらなる深掘りを志向し、さらなる未来へ歩み続ける。そのために五つの“シンカ”=進化、新化、伸化、深化、そして真化を大事にし、価値を生み出すモノづくりを創出し続けていきます。

モノづくり技術を大公開！



創

ムラタ独自のモノづくり技術の創出

他では真似のできない独創的なモノをつくるために、独自につくり方から考えています。扱う材料は金属・セラミックス・有機物など幅広く、形づくる技術も印刷積層・薄膜微細加工・実装など、様々な最先端のモノづくり技術を開発しています。全ては理想のモノをつくるために。



測

顧客が求める価値の証明

お客様のもとに自信を持って製品をお届けするために、出荷する前に厳しく検査しています。あるべき姿を数値化し、電気計測・画像処理・超音波などあらゆる原理を活用して最適かつ最速な検査技術を開発しています。これらの技術を駆使することで迅速に最高品質の製品を提供し続けています。



機

圧倒的パフォーマンスのたゆまぬ追求

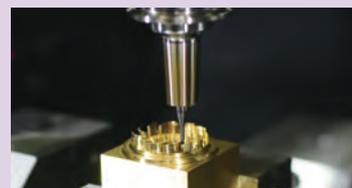
一つ一つ手づくりしてはお客様のもとに製品を届けることはできません。正確に、速く、大量につくるために生産設備を社内で作っています。設計・シミュレーションから綿密な検討を重ねた上で、加工・組立し、評価・改善を繰り返して、無事にモノをつくれることが確認できて初めて完成します。



精

極小の商品群を支える微細加工技術

ミクロン/ナノオーダーを求められる製品に合わせ、装置部品・精密加工品をつくる技術も重要です。サブミクロンオーダーの要求に応える最先端の加工技術で他では真似のできないモノをつくります。モノづくりを支えるモノづくりにもこだわっています。



流

ムラタ生産方式の確立への挑戦

いくら熟練の作業者を揃えて高性能な設備を集めても、それだけでは効率のよいモノづくりはできません。変化する市場へ柔軟に対応して、必要なモノを・必要な時に・必要な量をつくるができる、レベルの高いモノづくりの仕組みを志向し、人や設備のポテンシャルを引き出すことでモノづくりを日々シンカさせています。

